

LED防犯灯の整備始まる

市内各所に設置されている防犯灯約5800個をLED化する工事が4月4日から始まり、さっそく日開野町中居内で初めての取替工事が行われました。

新たに設置されるLED防犯灯は日亜化学工業製のLED球を使用した製品で、従来の蛍光灯に比べ小型で耐久性に優れ、照度や拡散性においても機能向上が図られています。消費電力やCO₂排出量ともに3分の1程度の削減が図れる見込みで、市内のすべての防犯灯をLED化すると、年間約814万円の電気代を節約することができます。また、LED球の耐用年数は約10年と長く、修繕工事費も含め大幅なコスト削減につながります。市では、今後4年間かけて、順次整備していく予定です。

なお、整備費には「阿南市LED防犯灯の整備に係る日亜化学工業基金」を充てています。



取り付けしたLED防犯灯の全長は約75cmと従来の蛍光灯の半分の大きさです。

可燃ごみ袋の透明化 4月から本格実施



4月1日から可燃ごみ袋の透明化が本格実施されました。市民の皆様のご協力のおかげでスムーズに収集が行えています。

ごみ袋の透明化は、ごみの分別推進と収集作業の安全確保を目的に導入されました。今後におきましても、3Rの推進やごみの分別による減量化・資源化にもご協力ください。

※見られたくない物がある場合は、新聞紙やレジ袋等で小さく包んで出してください。

蒲生田岬に公衆トイレが完成 旅の魅力を高める一助に



3月29日、四国最東端の岬・蒲生田岬の駐車場の一角に公衆トイレが完成し、4月1日から使用できるようになりました。総事業費は約800万円です。

新設された公衆トイレは木造平屋建てで、構造材や仕上げ材に県産の杉材が使われているほか、瓦葺屋根はウミガメの甲羅をイメージしたデザインに仕上がっています。

「長年の夢がかなった」と喜ぶのは蒲生田地区常会長の岡本憲治さん（65歳）。「大自然が広がる蒲生田の景観にほどよく調和しており、ウミガメが上陸する蒲生田海岸のイメージにぴったり。蒲生田岬モニュメント『波の詩』と相まって話題を呼び、多くの観光客が蒲生田を訪れてくれることを願っています。」と話していました。

公衆トイレの整備と併せて通用路の拡幅工事も行われ、利便性が飛躍的に向上しています。とくしま88景にも選ばれている蒲生田岬。話題性を兼ね備えたユニークなトイレが、大自然の営みを満喫する旅の魅力をいっそう高めてくれそうです。

サッポロビール株式会社様から まちづくり協力金が寄贈

平成23年2月25日に交わした阿南市とサッポロビール株式会社による「まちづくりに関する協定」に基づく協力金の贈呈式が3月21日、市長公室で行われ、丸山中四国本部長から岩浅市長に平成23年分の協力金24万9418円が寄贈されました。

この協力金は、阿南市内におけるサッポロビール商品の出荷量に応じて算出されたもので、協定に基づく協力金の寄贈は今回が初めてです。

贈呈式で、丸山中四国本部長は、「阿南市は市民一人一人のアイデアが形になっているまち。今後阿南市のまちづくりを応援していきたいです。」とあいさつがあり、岩浅市長は、「活力と夢を育むまちづくりのために有効活用させていただきます。」とお礼の言葉を述べました。



目録を手渡す丸山中四国本部長（左）と岩浅市長。
（3月21日、市長公室にて）

春の甲子園出場校「地球環境高校」が 阿南で合宿



アグリあなんスタジアムで練習に打ち込む選手たち。

第84回選抜高等学校野球大会に北信越地区代表として出場する地球環境高校（長野県）の野球部28人（監督等含む）が、3月11日から7日間、アグリあなんスタジアムで合宿を行いました。甲子園出場校が阿南市で合宿するのは、昨年の佐渡高校（新潟県）に続いて2回目です。

桑野地域や達粹連の熱烈な出迎えに感激した選手たちは、「阿南での練習の成果を甲子園で発揮したいです。」と、さっそく練習に汗を流しました。

昼食では、桑野・山口婦人会が豚汁などを振る舞って激励。力をつけた選手たちは、富岡西高校や阿南工業高校との練習試合をこなし、甲子園に向けて出発しました。

甲子園では、惜しくも1回戦敗退となりましたが、「夏の大会で1勝したい」と、再び夢舞台に戻ってくることを誓っていました。

橋地区防災公園が完成

阿南市地域防災計画に基づき、一次避難場所を有する都市公園として平成21年度から整備を進めてきた橋地区防災公園が、3月28日に完成しました。総事業費は約5億4500万円です。

公園は低段と高段に分かれ、低段（標高10㍎）には駐車場や備蓄倉庫、トイレ施設が、高段（標高15㍎）には東屋が整備されました。また、災害時に炊き出し用のかまどとして使用できるベンチも設置されています。公園内は芝生が植えられ、普段は憩いの場として利用していただけます。

橋地区は、津波による浸水被害が予想されており、同公園を活用した避難訓練や炊き出し訓練などが行われています。



橋町西浦に完成した橋地区防災公園。総面積は約10,800㎡（内、避難場所は約3,200㎡）で、約1,600人の収容が可能。進入路は9カ所設けられています。